

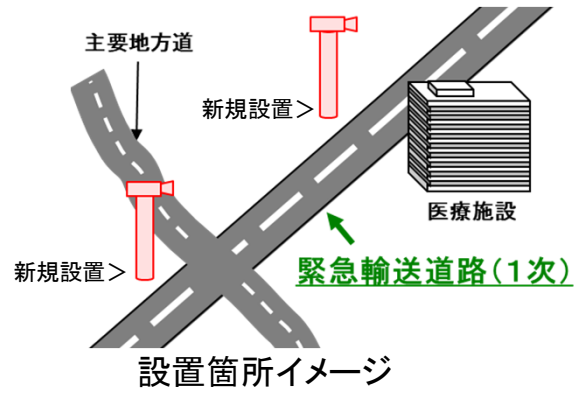
# ITを活用した道路管理体制の強化対策

- 緊急輸送道路(1次)のうち緊急通行車両の通行の確保の観点から重要な路線(区間)でCCTVカメラが必要な区間のうち、特に交通集中が予想される区間や、既存CCTVが近傍にない区間等にCCTVカメラを設置する。
- 3次元点群データを取得し、道路形状や周辺状況を記録することで、地震や津波などにより被災した土工等の復旧作業の迅速化を推進

## 《実施内容(例)》

### 【CCTVカメラの増設】

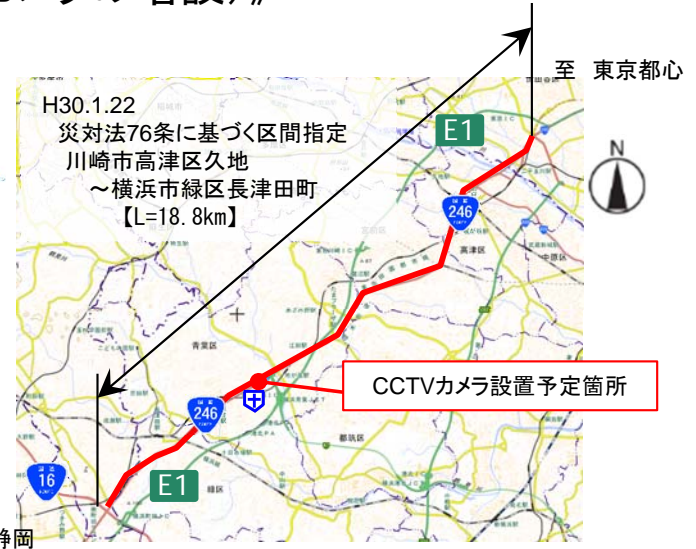
医療施設等の付近や他の枝路線が接続する箇所など災害発生時に交通集中が予想される箇所に増設



CCTVカメラの設置例

## 《代表事例(CCTVカメラの増設)》

### 【位置図】



### 【諸元等】

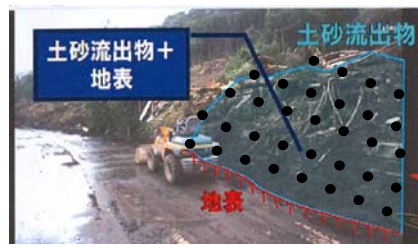
事業区間：  
国道246号

### 【3次元点群データの取得】

通常時の3次元点群データを取得し、道路形状や周辺状況を記録することで、地震や津波などにより被災した土工等の復旧作業の迅速化を推進



取得を行うデータ



土砂流出ボリュームの把握

【H30.1.22 災対法76条に基づく区間指定】  
川崎市高津区久地～横浜市緑区長津田町  
【L=18.8km】  
区間指定間：1/23 6:20～1/23 18:45  
滞留車両数：約30台



H30.1.22 国道246号での滞留車両の状況

